

10年間の活動に確信持ち、 「国民が主人公」時代をつくりあげよう！

仲間のみなさん

私たちは今日結成10周年を迎え、11年目の活動に入ります。総選挙が公示されたばかりの激動・激変の緊迫した情勢の中で総会を迎えることは初めてです。

昨年7月の参議院選挙では国民は自公政治経済路線に対し歴史的な打撃を与えました。国民は弱肉強食の新自由主義型構造改革路線と憲法改悪につながる右よりタカ派路線に対し「ノー」の態度を明確に示しました。昨年9月、安倍総理は突然、政権を投げ出しました。派閥・密室談合から福田総理が誕生しましたが、その福田総理も一年も経たないうちに政権を投げ出しました。一カ月前に改造内閣が発足したばかりでしたが、公明党の言いなりと助けがなければ政権が維持できないほど危機に瀕していました。

2年連続、1年も内閣が持たないという時代となりました。5人の自民党総裁候補は財界とアメリカ追随路線を踏襲することを強調しましたが、日本経済の苦境や財政破綻の原因には触れず、国民が望む経済・物価・雇用・労働・教育・福祉などの改善についての具体的な中身はありません。マスコミを利用した派手なパフォーマンスを繰り返して、その結果、麻生総理が誕生しました。自公政権は延命を狙って、新総理の「ご祝儀相場」のうちに解散・総選挙という路線を選択しました。こんな国民を馬鹿にした話はありません。国民はもうだまされません。

総選挙・政権交代情勢など激動の国内政治情勢と新たにリーマン・ブラザーズ倒産、AIG救済などアメリカ金融の崩壊と全世界への波及という国際金融情勢が急展開しています。アメリカでも政権交代の可能性も高く、国際情勢も激動、世界史が大きく変わる時代が始まっています。

いま、日本の政治経済情勢も永らくつづいた自民党支配と自公路線を見限り、「国民が主人公」の新しい政治経済路線への歴史的転換期の真っ只中にあります。私たちがこの10年奮闘してきた『平和・民主主義・国民生活の向上』実現の革新三目標を掲げる革新懇運動がいよいよ真価を発揮する時代が到来しています。「国民が主人公」「政治の中身が問われる」時代の実現をめざし、一層奮闘をしようではありませんか。

損害保険産業では1996年の日米保険協議の結果、大型再編・合併が続き、金融・保険の自由化、新自由主義・市場原理主義型の競争がますます激しく繰り返されています。大手会社を先頭に各社は損害保険産業本来の社会的役割発揮は二の次とし、収保拡大・利益追求・代理店制度破壊・従業員削減・労働条件改悪・雇用制度流動化などあらゆる面での「効率化・合理化」を追求しています。

今回の米国金融保険の危機・崩壊の中で今日のわが国の損害保険産業の秩序をぶち壊し、混乱を持ち込んだ張本人その人自身が倒産の危機に陥り、巨額な国家救済を受けるという事態が起きています。

あらためて、私たちは損保産業の民主化を求める座標軸を確認し、活動の原点におきます。

- (1) 損害保険産業は世界の平和や日本経済の健全な発展と国民生活の向上と共に成長し、この発展と向上を支える産業であること
- (2) 業の精神である「一人は万人のために、万人は一人のために」を原点に、社会性・公共性を発揮する産業として発展し、国民生活の安全と安心に役立つこと
- (3) 損害保険従事者の願いは産業の誇りを持ち働きがいのある生活と人生を送ること

仲間みなさん

私たちは結成以来10年間、以下のようなさまざまな活動を展開してきました。

【総会 講師と演題】

- 第1回総会 大阪革新懇代表世話人小西和人氏 『母なる大阪湾を守ろう』
- 第2回総会 品川正治氏 『21世紀の経済社会と損害保険業の新しい進路』
- 第3回総会 宗藤泰而弁護士 『21世紀・人間らしくどう生きるか』
- 第4回総会 中崎章夫氏（保険ジャーナリスト）『どうなる どうする損害保険産業』
- 第5回総会 大谷昭宏氏（ジャーナリスト）『あらためて大企業の社会的責任を問う』
- 第6回総会 品川正治氏 『平和憲法を考える』
- 第7回総会 斉藤貴男氏（ジャーナリスト）『平和と平等をあきらめない』
- 第8回総会 二宮厚美氏（神戸大学教授）『「バターか大砲」かの選択と憲法の危機』
- 第9回総会 石川康宏氏（神戸女学院大学教授）『！憲法・教育基本法改悪を許さない！』
- 第10回総会 牛久保秀樹弁護士 『ディセントワーク・人間らしい働き方を求めて』

【主な活動】

- ブックレット『どうなる どうする 損保の未来』刊行と7000部全国普及活動 (2000年3月)
- ブックレット『私たちも憲法改悪に反対します』刊行と7000部全国普及活動 (2006年7月)
- シンポジウム『今、損保の職場はどうなっているか』開催と報告活動 (2001年4月)
- シンポジウム『損保と共済の社会的責任を考える』開催と報告活動 (2008年4月)
- 広島平和ツアー 第1回2001年8月 第2回2004年8月 第3回2005年8月

宮島損保平和集会(品川正治氏講演『21世紀の世界平和を広島で考える』)

ゼミナール『大企業の社会的責任と働くルール』5回(講師 森岡孝二氏)03年11月～2004年4月)

憲法改悪反対署名 6600筆達成、全国革新懇を通じ国会へ提出 (2005年9月)

講演・学習会 川田悦子氏・宇田川義人氏・林直道氏・坂井希氏・押尾直志氏・長岡麻寿恵氏・紺谷典子氏・下司上氏・西谷文和氏・木藤なおゆき氏・桜田照雄氏・一宮美成氏・松浦昭氏・北出祥夫氏・松浦章氏など(演題略)

諸闘争参加と支援 『全面勝利解決』朝日火災不当労働行為闘争 日新火災松浦章氏配転闘争 日本興亜田崎博美さんパワハラ闘争

『現在支援闘争中』 東海日動外勤制度と雇用を守る闘争 高田橋氏パワハラ闘争

ホームページ 結成以降の全ての活動検索可能(2002年4月～)

「大阪損保革新懇ニュース」第1号～96号発行1998年10月～)

仲間みなさん

この10年、積み重ねてきたさまざまな活動に確信を共有したいと思います。結成当時は唯一でしたが、現在全国の損保革新懇は7組織、損保9条の会も7組織、計14の闘う仲間への発展も喜びたいと思います。今年も日本興亜田崎博美さんのパワハラ闘争を闘い、和解と職場復帰を勝ち取りました。4月にはシンポジウム『損保と共済の社会的役割を考える』を成功させ、『世界9条会議イン関西』にも多くの仲間が参加しました。東海日動のたたかい、高田橋さんのたたかいも引き続き取り組んでいます。

結成10年、現在の激変・激動・緊迫する情勢は革新懇の時代の到来です。私たちの存在と活動や提言を多くの仲間が賛同してくれていますが、損保の職場や労働者・代理店・共済の仲間のおかれている状況を考えるとき、もつと会員を増やし、質量にわたる活動の強化と充実が問われています。

みなさん、ともにがんばりましょう。

2008年10月15日

大阪損保革新懇結成10周年・第11回総会